SONY®

取扱説明書

ステレオカセットコーダー

TCS-370

お買い上げいただきありがとうございます。
この説明書をよく読んで正しくお使いください。
お読みになったあとは大切に保管し、わからないことや不具合が生じたときにもう一度ご覧ください。きっとお役に立ちます。

OPERATING INSTRUCTIONS page 17

Before operating the set, please read this manual thoroughly. This manual should be retained for future reference.

©1982 by Sony Corporation

主な特長

軽くて小型。しかもロジカルコントロールでボタンを軽く押すだけ、テープを止めずにお好みのモードへ。

アンチローリングメカ搭載。歩きながら使っても音がゆれません。

録音もボタンをひとつ押すだけ。再生から録音へ(後追い録音)の切り換えも片手で自由自在。

内蔵のワンポイントステレオマイクで手軽にステレオ録音。本格派のために外部マイクジャックも用意しました。

ステレオヘッドホンでステレオ再生。
モノラルスピーカーも内蔵。

再生イコライザー付き。
高性能メタルテープにも対応。

セイフティースイッチ付き。
うっかり指が触れて知らない間にテープが動くのを防ぎます。

そのほか…

- 聞きたいところの頭出しや繰り返し聞きたいときに便利なキュー、レビュー機構。
- 録音レベル調節がいらないSONY-O-MATIC自動録音方式。
- 録音、再生、早送り、巻き戻しのどの状態でも、テープが終わると電源が自動的に切れるフル・オートシャットオフ機構。
- 3電源—乾電池、電灯線電源(別売りAC-39使用)のほかに、自動車バッテリー(別売りDCC-127A、接続に別売りDCプラグアダプターPC-200使用)で使えます。

目次

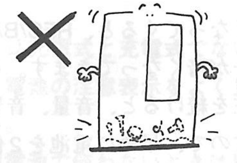
取り扱い上のご注意…………3
乾電池で使うには…………4
外部電源で使うには…………5
カセットの入れかた…………6
テープを聞くには——再生…………7
内蔵マイクから録音するには…………8
知っていると便利
——録音・再生に便利な機能…………10
いろいろな接続と録音のしかた…………11
お手入れのしかた…………12
肩かけベルトの通しかた…………12
故障とお考えになる前に…………13
保証書とアフターサービス…………14
主な仕様…………14
別売りアクセサリー…………15
各部の名前…………16

英文表示の読みかたは「各部の名前」を参照してください。

取り扱い上のご注意

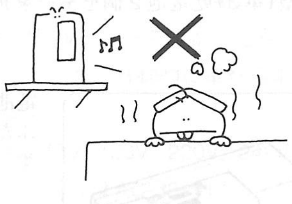
電灯線電源(AC 100V)でご使用になるときは、必ず別売りのACパワーアダプターAC-39をご使用ください。
自動車のバッテリーでご使用になるときは、必ず別売りのカーバッテリーコードDCC-127Aをご使用ください。(接続には別売りのDCプラグアダプターPC-200が必要です。)

液体や異物を入れないようにご注意ください。
特にDC IN 3Vジャックには異物を入れないようにご注意ください。故障や事故の原因になります。



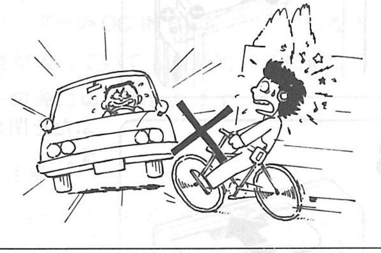
レコーダーやカセットテープを次のような所に置かないでください。

- 直射日光があたる場所。
- 暖房器具の近く。
- 窓を閉めきった自動車内(特に夏期)。
季節により100℃以上になることがあり、キャビネットが変形したり故障の原因になったりする場合があります。
- 磁石やスピーカーボックスのすぐそばなど磁気を帯びた所。
- ほこりの多い所。
- 風呂場など湿気の多い所。



キャッシュカード、定期券などで、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけないでください。マグネットの影響で磁気が変化してカードが使えなくなることがあります。

**ヘッドホンで聞くときは
次の点にご注意ください。**



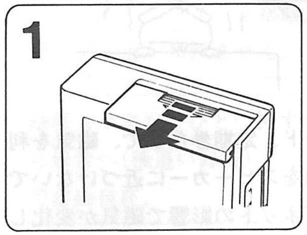
- 耳をあまり刺激しないよう、ヘッドホンは適度な音量でお楽しみください。
- 交通安全のため、自動車などを運転中はご使用にならないでください。
- **オープンエアタイプ**のヘッドホンは音が外にもれる構造になっています。音量を上げすぎて、周囲の人に迷惑にならないよう心がけてください。

万一故障した場合は、内部をあけずに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

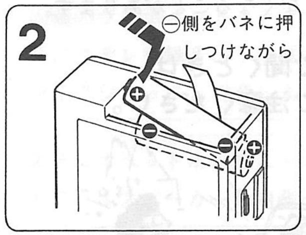
乾電池で使うには /Battery installation

乾電池の入れかた

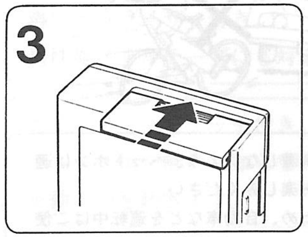
UM-3型(単3)乾電池2個を⊕⊖を正しく入れます。



電池ケースのふたを開けます。



リボンを下にしくと、とり出すときに便利です。



ふたを閉めます。

ご注意

電池で使うときはACパワーアダプターやカーバッテリーコードがDC IN 3Vジャックから抜かれていることをお確かめください。つながれていると、電池では動作しません。

電池の持続時間と交換時期

使用乾電池	ソニー乾電池 ニュースーパー SUM-3(NS)使用時	ソニーエバレディ 乾電池アルカリ AM3使用時
録音時 (EIAJ)*2	約2.5時間	約5時間
音楽再生時 (EIAJ)*1	約2時間	約4時間

*1 EIAJの測定基準に基づき、ミュージックテープをスピーカーで聞きながら、4時間連続再生、15時間以上休止を繰り返した場合の延べ時間

*2 EIAJの測定基準に基づき、内蔵マイクから4時間連続録音、15時間以上休止を繰り返した場合の延べ時間

EIAJは日本電子機械工業会の略称です。

- 電池がなくなってくると、REC/BATTインジケーターが暗くなってきます。そのまま録音や再生を続けると、音量、音質ともに低下しますので、早めに電池を2個とも新しいものと交換してください。
- 大切な録音を行うときは、念のため新しい電池のご使用をおすすめします。

別売りのバッテリーケースEBP-500をご使用になると長時間の録音・再生が可能です。

ご注意

電池を交換するときには必ず■STOPボタンを押して一度動作を停止させてください。動作中に電池を取り出すと(あるいは電池が消耗してしまったとき)ふたが開かなくなります。この場合は、電池を入れるか、ACパワーアダプターまたはカーバッテリーコードをレコーダーと電源にしっかり差しこんでください。(電池が消耗したと思われる場合には新しい乾電池を入れてください。)

外部電源で使うには

乾電池についてのご注意

乾電池を誤って使用すると液もれや破裂するなど危険があります。次の点について特にご注意ください。

★**乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを正しく入れてください。**

★**新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。**

★**種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。**

★**電池には充電式と充電式でないものがあります。電池の注意表示をよく見てご使用ください。**

★**長い間電池で使わないときは取り出しておいてください。**

★**分解や加熱をしたり、火の中に入れたりしないでください。また、捨てるときは、燃えないゴミとして捨ててください。**

万一液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい電池を入れてください。

電灯線電源で使うには

別売りのACパワーアダプターAC-39をレコーダーのDC IN 3Vジャックに差し込みます。電池が入っていても、自動的に電灯線電源に切り換わります。

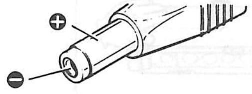
- 海外でAC110V、120V、220V、240Vからお使いになる場合はAC-38(別売り)をお買い求めください。

自動車のバッテリー(12V)で使うには

別売りのソニーカーバッテリーコードDCC-127A(接続には別売りのDCプラグアダプターPC-200が必要です。)を使って、12Vバッテリー使用の自動車のシガレットライターソケットとレコーダーのDC IN 3Vジャックをつなぎます。電池が入っていても自動的に自動車のバッテリー電源に切り換わります。

ご注意

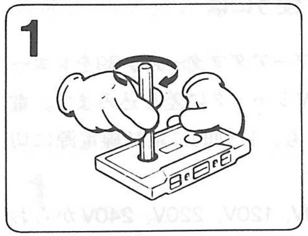
- ソニー以外のACパワーアダプターやカーバッテリーコードには、極性が逆のものもありますので、ご使用にならないでください。



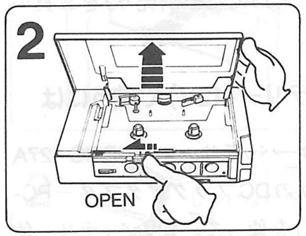
ソニーのプラグの極性

- ACパワーアダプターやカーバッテリーコードをレコーダーからはずすときには、必ず■STOPボタンを押して一度動作を停止させてください。動作中にACパワーアダプターやカーバッテリーコードをレコーダーまたは電源からはずすと、ふたが開かなくなります。

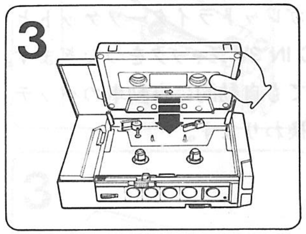
カセットの入れかた /Cassette insertion



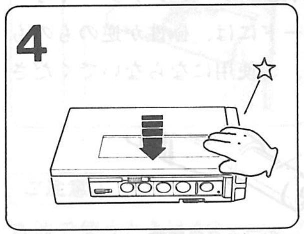
テープのたるみをとります。



OPENボタンを矢印方向に動かして、ふたを開けます。



カセットを入れます。



ふたを閉めます。

テープが全部矢印の方向に巻き取られているときは、▲REWボタンを押して、テープを巻き戻してください。

取り出しかた

■STOPボタンを押してテープを止めてから、OPENボタンを矢印方向に動かすとふたが少し開きます。指でふたを押し上げ、カセットを取り出します。

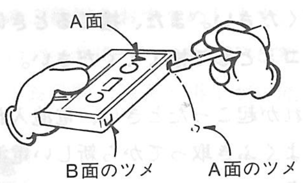
ご注意

- テープが動いている間は、カセット入れを開けないようご注意ください。
- ■STOPボタンを押してもレコーダーの動作が停止しない場合は、SAFETYスイッチをRELEASE(リリース)の位置にしてください。
- 電池が消耗していると、録音・再生中に■STOPボタンを押した後カセットを取り出そうとしても、OPENボタンが動かないことがあります。このようなときは新しい電池に交換するか、別売りのACパワーアダプターをお使いください。

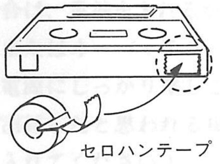
カセットテープひとロメモ

ツメを折って大切な録音を守りましょう。

●RECボタンを押しても録音機能が働かないので、誤って消してしまうミスが防げます。

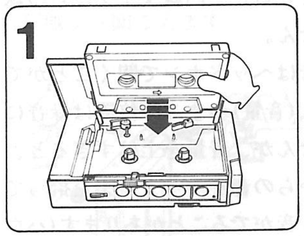


ツメを折っても穴をふさげば再び録音できます。図に示された部分以外にはテープを貼らないでください。

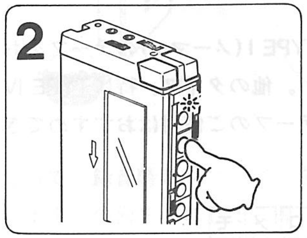


テープを聞くには―再生 /Playback

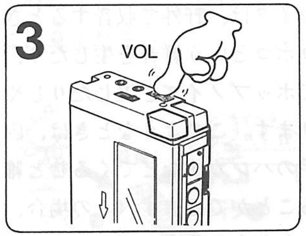
別売りのヘッドホンでステレオ再生が楽しめます。スピーカーでの再生はモノラルです。再生を始める前に、SAFETYスイッチをRELEASEの位置にします。



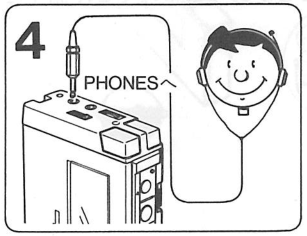
カセットを入れます。



▼PLAYボタンを押します。



音量を調節します。



ヘッドホンで聞くときは、PHONESジャックにつないでください。スピーカーからの音は出なくなります。

再生中はREC/BATTインジケーターが点灯します。

テープを止めるときは、■STOPボタンを押します。

テープを早く先へ送るときは、▼FFボタンを押します。

巻き戻すときは、▲REWボタンを押します。

テープを生かす

PB EQ(再生イコライザー)スイッチ

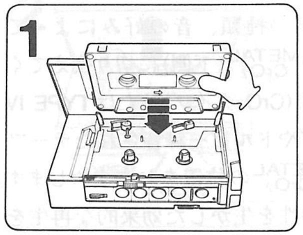
再生するテープの種類、音の好みによってNORM(ノーマル)(上側)かMETAL/CrO_2(下側)に切り換えてください。TYPE II(CrO_2タイプ)またはTYPE IV(メタル)テープやドルビー録音されたテープを聞くときはMETAL/CrO_2の位置をおすすめします。テープの録音特性を生かした効果的な再生をお楽しみいただけます。

ご注意

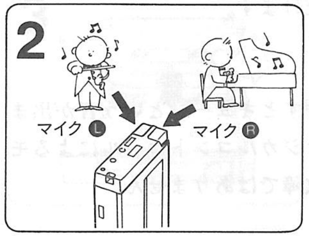
操作ボタンを押すとキューンという音が出ますが、これはロジカルコントロールによるモーター音で、故障ではありません。

内蔵マイクから録音するには / Recording with the built-in microphones

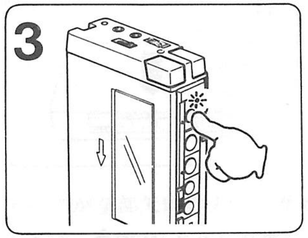
左右のマイクからステレオ録音されます。
録音レベル調節のいらないSONY-O-MATIC自動録音です。
録音を始める前に、SAFETYスイッチをRELEASEの位置にします。

1


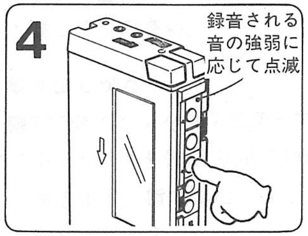
カセットを入れます。

2


ジャック側を上にして、マイクを向けます。Ⓛのマイクから左側の音が、Ⓡのマイクから右側の音が録音されます。

3


●RECボタンを押します。

4


テープを途中で止めるときは■STOPボタンを押します。

ご注意

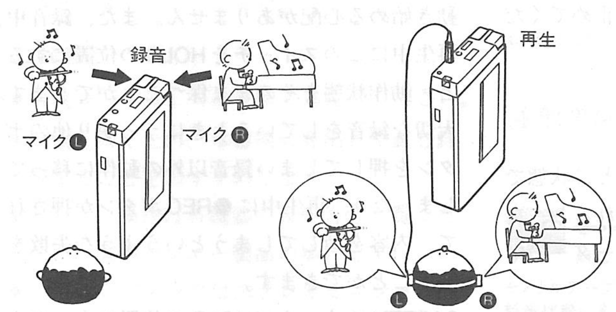
- ●MICジャックに外部マイクや接続コードが差し込まれていると、内蔵マイクからの録音はできません。
- ●録音される音はヘッドホンで聞くことができます。VOL（音量）つまみの位置は録音には影響しませんが、音量を上げすぎると、ヘッドホンからの音をマイクがまた拾って、キーンという音がでることがあります（ハウリング）。
- ●録音には、TYPE I（ノーマル）のテープをお使いください。他のタイプ、特にTYPE IV（メタル）のテープのご使用はおすすめできません。

録音ひとロメモ

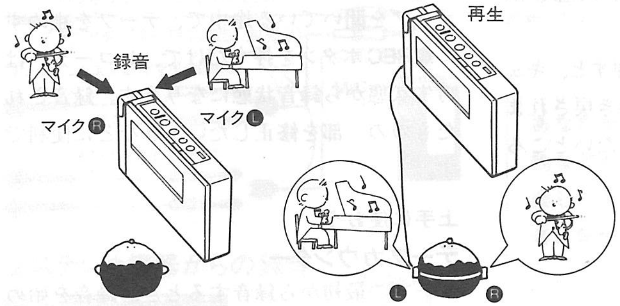
単一指向性のマイクは、野外で収音するとき、風によってボコボコという雑音を生じたり、息吹きによってポップノイズを生じたりしやすい性質があります。このようなときは、内蔵マイクを薄手のハンカチなどでくるむと雑音を少なくすることができます。（この場合、音質が変わることがありますのでご注意ください。）

内蔵マイク録音と再生時の定位について

図のように、Ⓛ（左）の内蔵マイクから収音された音はヘッドホンの左耳側から、Ⓡ（右）の内蔵マイクから収音された音はヘッドホンの右耳側から聞こえます。



従って、録音時にレコーダーを、下図のようにボタンの面を上にして音源に向けると、再生時に左右の音（定位）が逆に聞こえますのでご注意ください。



知っていると便利 — 録音・再生に便利な機能 —

フェザータッチの
ロジカルコントロール

軽いタッチのボタン操作で録音、再生、早送り、巻き戻しのどの状態からでも、■STOPボタンを押さずに、直接次のテープ走行状態に移ることができます。ただし録音から再生に移る場合は■STOPボタンでテープを止めてください。

電源が自動的に切れる
フル・オートシャットオフ機構

録音、再生、早送り、巻き戻しのどの状態でも、テープが終わりまで巻き取られると、自動的にストップ状態になり、レコーダーの電源が切れます。

聞きたいところを探すのに便利な
キュー、レビュー機構

再生中、▼FFボタンを押すと、キュルキュル音が聞こえてテープが先に送られます（キュー機構)。お聞きになりたいところで▼PLAYボタンを押します。

同様に、再生中▲REWボタンを押すと、キュルキュル音が聞こえてテープが巻き戻されます(レビュー機構)。お聞きになりたいところで▼PLAYボタンを押します。

テープの一時停止ができる
ポーズスイッチ

PAUSEスイッチを矢印の方向に動かすとテープが止まり(ポーズ状態)、元に戻すと再びテープが動き出します。録音中、不要な部分をカットしたいときや、テープを聞きながらメモをとるときなどに便利です。長い間テープを止めるときは必ず■STOPボタンをお使いください。

誤操作を防ぐ
SAFETYスイッチ

レコーダーを持ち運ぶとき、SAFETYスイッチをHOLD(ホールド)の位置にしておきます。テープ操作ボタン(●、▼、■、▲、▼)は押しても働かなくなりますので知らないうちにテープが動き始める心配がありません。また、録音中、再生中にこのスイッチをHOLDの位置にすると、動作状態をそのまま保つことができます。大切な録音をしているときにうっかり他のボタンを押してしまい録音以外の動作に移ってしまったり、再生中に●RECボタンが押されて、内容を消してしまうというような失敗を防ぐことができます。

SAFETYスイッチがHOLDの位置にあっても、PAUSEスイッチは働きます。またテープが終わりまで巻き取られると自動的に電源が切れます。

再生から録音へワンタッチの
後追い録音

テープを聞いている途中で、テープを止めずに●RECボタンを押すだけで、レコーダーは再生状態から録音状態になります。録音されたものの一部を修正したいときなどに便利です。

上手に使おう
テープカウンター

テープの最初から録音するとき、録音を始める前にリセットボタンを押してカウンターを000にします。テープが巻き取られるにつれてカウンターの数字が動きますので、録音内容とその数字の範囲をメモしておきます。早送りや巻き戻しをしてテープを聞きたい部分や、次に録音を始める部分を探すとき、この数字を目安にすると便利です。

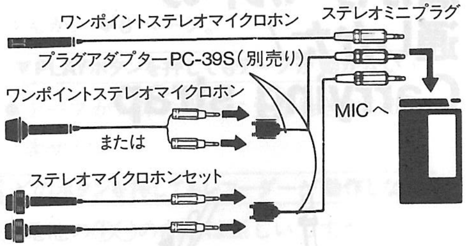
いろいろな接続と録音のしかた / Recording from various sound sources

上面のMICジャックやPHONESジャックを使います。MICジャックにプラグを差し込むと、内蔵マイクは自動的に切れます。録音中の音はスピーカーからは聞こえません。ヘッドホンでモニターしてください。

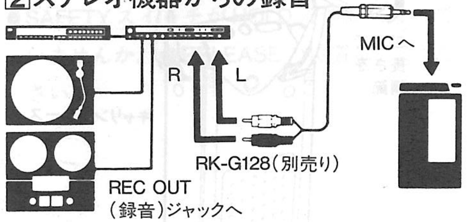
ご注意

- 接続コードはしっかり差し込んでください。
- 失敗を防ぐため、本番前に音出しや試し録音することをおすすめします。
- くわしい操作は各機器の説明書をご覧ください。図例はソニー製品の場合です。
- このMICジャックはステレオミニジャックです。従来のモノラルのミニプラグ付きの接続コードまたはミニプラグ付きのマイク1本だけを使うと、左チャンネルにしか録音されません。

1 外部マイクからの録音

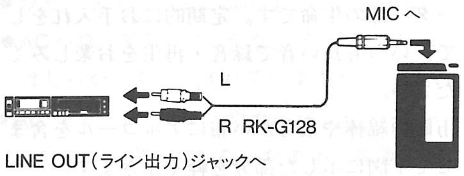


2 ステレオ機器からの録音

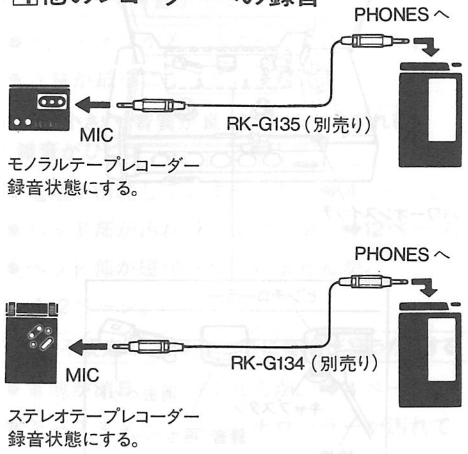


- 接続コードRK-G128の赤いプラグはR(右)のジャックへ、もう一方のプラグはL(左)のジャックへ接続してください。

3 ステレオテープレコーダーからの録音



4 他のレコーダーへの録音

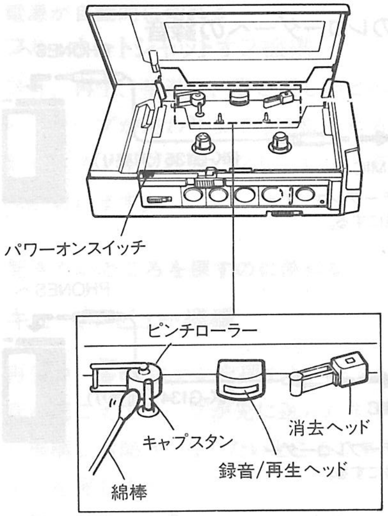


あなたがラジオ放送やテレビ放送、録音物などから録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

お手入れのしかた

ヘッド部のお手入れ

録音/再生ヘッドなどのあるヘッド部は、レコーダー部の生命です。定期的にお手入れをして、いつも良い音で録音・再生をお楽しみください。
市販の綿棒や柔らかい布にアルコールを含ませて下図に示した部分を軽くふきます。



クリーニング棒とクリーニング液がセットになったクリーニングキットKK-3(別売り)や、ヘッドクリーニングペンCLH-4(別売り)をお使いになると便利です。

＊パワーオンスイッチについて
カセット入れのふたが開いているときにうっかり操作ボタンに触れてもモーターが働かないためのスイッチです。カセット入れのふたを閉めるとこのスイッチは自動的にONになり操作可能になります。

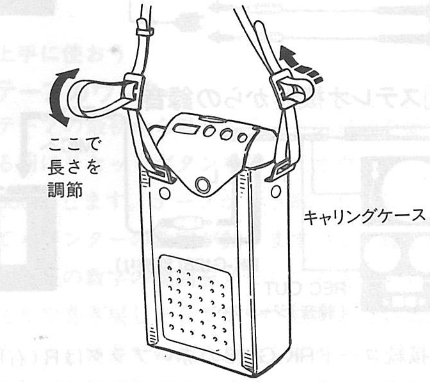
録音/再生ヘッドの消磁

録音/再生ヘッドに磁気を帯びたドライバーなどが触れたりするとヘッドが磁化されて、そのまま録音・再生するとボソボソという雑音が出ます。このようなときは、ソニーヘッド消磁器HE-4(別売り)を使って、録音/再生ヘッドの消磁をしてください。消去ヘッドは消磁しないでください。詳しくはHE-4の説明書をご覧ください。

キャビネットのクリーニング

レコーダーの表面が汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤溶液でしめらせた布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためますので使わないでください。

肩かけベルトの通しかた/Carrying strap



故障とお考えになる前に

レコーダーの調子が悪いとすぐ故障と考えがちですが、修理に出す前に、もう一度次のような点検をしてください。

カセットが入らない

- カセットの向きは正しいですか。➡6ページ。

カセットぶたが開かない

- 録音中または再生中にカセットを取り出そうとしていませんか。➡■STOPボタンを押してから取り出す。
- 電池が消耗していませんか。➡4ページ。
- 動作中、電池を取り出したりACパワーアダプターやカーバッテリーコードをレコーダーからはずしませんでしたか。➡電池を入れるかACパワーアダプターまたはカーバッテリーコードをレコーダーと電源につないでください。

●RECボタンを押してもレコーダーが動作しない

- カセットは入っていますか。
- ツメが折ってあるカセットが入っていませんか。➡6ページ。

▼PLAYボタンを押してもテープが動かない

- テープが矢印の方向に全部巻き取られていませんか。

どのボタンを押してもレコーダーが動作しない

- 電池の⊕⊖の向きは正しいですか。
- 電池が消耗していませんか。➡4ページ。
- SAFETYスイッチがHOLDの位置になっていませんか。➡RELEASEの位置にしてください。

- PAUSEスイッチがオレンジ色のマークの見える位置(ポーズ状態)になっていませんか。
- カセット入れのふたは閉まっていますか。
- ACパワーアダプターやカーバッテリーコードはしっかり差し込まれていますか。
- ACパワーアダプターやカーバッテリーコードをレコーダーにつないだまま、電池で使おうとしていませんか。

スピーカーから音が出ない

- ヘッドホンが差し込まれていませんか。
- 音量が最小になっていませんか。

音が小さい、音質が良くない、音がとぎれる、雑音がひどい

- 電池が消耗していませんか。➡4ページ。
- ヘッド部が汚れていませんか。➡12ページ。
- ヘッド部が磁化されていませんか。➡12ページ。

音が不安定で、音楽など急に音程が狂ったりする

- 電池が消耗していませんか。➡4ページ。
- キャプスタンや、ピンチローラーが汚れていませんか。➡12ページ。

録音ができない

- 接続は正しいですか。➡11ページ。
- 電池が消耗していませんか。➡4ページ。
- 録音/再生ヘッドが汚れていませんか。➡12ページ。

前の音が完全に消えない

- 消去ヘッドが汚れていませんか。➡12ページ。

保証書とアフターサービス

保証書について

● この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げ店でお受け取りください。
● 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
● 万一故障した場合の無料修理期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

調子が悪いときはまずチェックを ➡「故障とお考えになる前に」の項を参考にして、故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ ➡お買い上げ店、または添付の「サービス窓口のしおり」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は ➡保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は ➡修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

なお、テープレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は製造打切り後6年です。この期間は、通商産業省の指導によるものです。
保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

主な仕様

トラック方式　コンパクトカセット ステレオ
スピーカー　直径5cm
早巻き時間　約2分(ソニーカセットテープC-60使用)
周波数範囲　TYPE I(ノーマル)カセット
総合 50～10,000Hz(EIAJ*)
再生 40～14,000Hz(EIAJ)
入力端子　マイク(ステレオミニジャック)1個
最小入力レベル 0.2mV
ローインピーダンスマイク用
出力端子　ヘッドホン(ステレオミニジャック)1個
負荷インピーダンス 8Ωから300Ω
実用最大出力　スピーカー:200mW(EIAJ/DC)
ヘッドホン:20mW+20mW(EIAJ/DC)
32Ω負荷時
電池持続時間

使用乾電池	ソニー乾電池 ニュースーパー SUM-3(NS)	ソニーエバレディ 乾電池 アルカリAM3
EIAJ 録音時	約2.5時間	約5時間
EIAJ音楽再生時 (スピーカー) VOL 5分目程度	約2時間	約4時間
ヘッドホン(出力 0.5mW+0.5mW) 再生時	約3時間	約6時間

電源　DC 3V、単3型乾電池(UM-3型、IEC呼称R6)2個
外部電源ジャック 定格DC 3V
別売りACパワーアダプターAC-39を接続してAC 100V電源から使用可能
別売りカーバッテリーコードDCC-127Aを接続して(別売りDCプラグアダプターPC-200使用)12V自動車バッテリーから使用可能
本体寸法　85.5×147×31.3mm(幅/高さ/奥行き)
最大突起部含まず
最大外形寸法 (EIAJ)　88.5×149.1×31.8mm(幅/高さ/奥行き)
最大突起部含む
重量　420g(乾電池含む、他の付属品含まず)
付属品　ソニー乾電池ニュースーパー
SUM-3(NS)(2)
肩かけベルト(1)
キャリングケース(1)

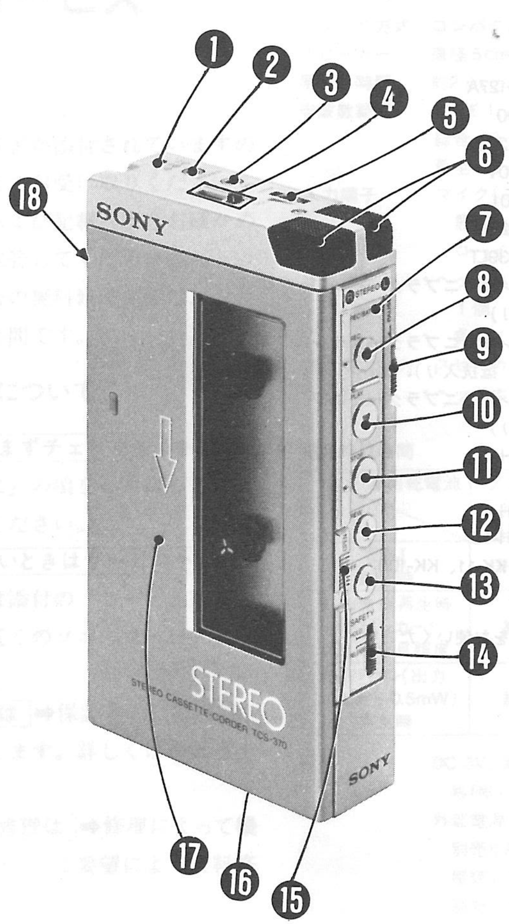
本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

別売りアクセサリー

ACパワーアダプター　AC-39
バッテリーケース　EBP-500
カーバッテリーコード　DCC-127A
DCプラグアダプター　PC-200
ステレオヘッドホン　MDR-E252
MDR-30T
ステレオマイクロホン　ECM-101
ECM-929LT
ECM-939LT
接続コード　RK-G128(ステレオミニプラグ↔ピンプラグ、抵抗入り)
RK-G134(ステレオミニプラグ↔ステレオミニプラグ、抵抗入り)、
RK-G135(ステレオミニプラグ↔ミニプラグ、抵抗入り)
カセットテープ消磁器　BE-9H
ヘッド消磁器　HE-4
ヘッドクリーニングペン　CLH-4、
クリーニングスティック　CLH-10
クリーニングキット　KK-3、KK-11、KK-100
クリーニングカセット　C-1K

テープ、乾電池もソニー製品をお使いください。

各部の名前 /Parts identification



❶DC IN 3V(外部電源)ジャック
❷PHONES(ヘッドホン)ジャック
❸MICジャック
❹テープカウンターとリセットボタン
❺VOL(音量)つまみ
❻内蔵マイク(LとR)
❼REC/BATT(録音/電池)インジケーター
❽●REC(録音)ボタン
❾PAUSE(一時停止)スイッチ
❿▼PLAY(再生)ボタン
⓫■STOP(停止)ボタン
⓬▲REW(巻き戻し/レビュー)ボタン
⓭▼FF(早送り/キュー)ボタン
⓮SAFETYスイッチ
⓯OPEN(カセット取り出し)ボタン
⓰電池入れ
⓱カセット入れ
⓲PB EQ(再生イコライザー)切り換えスイッチ

English

● Complete stereo recording and playback system in this very compact cassette-corder.
•Built-in one point stereo microphone and an external microphone jack for stereo recording.
•Stereo playback through a pair of stereo headphones (optional).
● Logic-controlled mechanism allows rapid switching directly from one-mode to another.
● Easy one hand operation with ultimate recording simplicity—merely insert a cassette and press a single button.

As you read, refer to the illustrations and photo in the Japanese text.

TABLE OF CONTENTS

Parts identification 17
Precautions.. 17
Battery installation 18
Cassette insertion 18
Playback 18
Recording with the built-in microphones . 18
Tips on plyaback/recording 19
Recording from various sound sources . . 19
Maintenance .... back cover
Specifications .... back cover

PARTS IDENTIFICATION

(See page 16).

❶ DC IN 3 V jack
❷ PHONES (headphone) jack
❸ MIC (microphone) input jack
❹ Tape counter and reset button
❺ VOL (volume) control
❻ Built-in microphones (L and R)
❼ REC/BATT (record/battery) indicator
❽ ● REC (record) button
❾ PAUSE switch
❿ ▼ PLAY button
⓫ ■ STOP button
⓬ ▲ REW (rewind/review) button
⓭ ▼ FF (fast forward/cue) button
⓮ SAFETY switch
⓯ OPEN button
⓰ Battery compartment
⓱ Cassette compartment
⓲ PB EQ (playback equalizer) selector

PRECAUTIONS

● Do not open the casing. Refer servicing to qualified personnel only.
● Operate the set only on 3 V dc.
For ac operation, use the ac power adaptor recommended for this set. Do not use any other ac power adaptor. Polarity of the plugs of other manufactures may be different.
For car battery operation, use the car battery cord recommended for this set. Do not use any other car battery cord.
● Disconnect the ac power adaptor from the wall outlet when the set is not to be used for an extended period of time.
● Do not place the set in a location near heat sources such as radiators or airducts, or in a place subject to direct sunlight, excessive dust, moisture, rain, mechanical vibration, or shock.
● Should any liquid or solid object fall into the set, remove the batteries and disconnect the ac power adaptor, and have the set checked by qualified personnel before operating it any further.
● Since a strong magnet is used for the speaker, metallic objects such as pins, etc. may cling to the set. Keep personal credit cards using magnetic coding or spring-wound watches away from the set to prevent possible damage from the magnet.

If you have any question or problem concerning your set that is not covered in this manual, please consult the nearest Sony dealer.

BATTERY INSTALLATION

(See page 4.)

Insert two batteries, IEC designation R6 (size AA). Lay the ribbon underneath the batteries. The ribbon aids in removing the batteries.

● The set cannot be operated on internal batteries when the ac power adaptor is connected to the set.

● When the set is not to be used for a long period of time or is to be operated extensively on other power sources, remove the batteries to avoid set damage caused by battery leakage and corrosion.

Battery replacement

If the playback or recording sound becomes distorted or unstable, replace the batteries. The REC/BATT indicator will help you to know the battery condition. If the batteries are weak, the indicator will glow faintly.

For other power sources, see "Power requirements" in the specifications on the back cover.

CASSETTE INSERTION

(See page 6.)

Before inserting, take up any slack in the tape.

● While the tape is running, do not open the cassette compartment lid.

● If the batteries are weak, you may have trouble removing the cassette after pressing the ■ STOP button during recording or playback. Because of the weak batteries, the OPEN button may not move. In this case, replace the batteries with new ones or use the optional ac power adaptor.

PLAYBACK

(See page 7.)

Make sure that the SAFETY switch is set to RELEASE.

To begin the playback: just depress the ▼ PLAY button.

To stop the tape: press the ■ STOP button.

To rewind the tape: press the ⏫ REW button.

To advance the tape rapidly: press the ⏬ FF button.

How to use the PB EQ selector

For metal, CrO_2 type tapes and Dolby NR processed tapes, set the PB EQ selector to METAL/CrO_2 position. For normal tapes, set it to NORM. High frequencies may be decreased in the METAL/CrO_2 position.

Note: Use a pair of stereo headphones (optional) to enjoy the hi-fi stereo sound. For playback with the headphones, connect it to the PHONES jack.

The built-in speaker is for monaural listening.

When an operation button is pressed, a short buzz may be heard. This is caused by the logic-controlled mechanism and is no problem.

RECORDING WITH THE BUILT-IN MICROPHONES

(See page 8.)

Make sure that the SAFETY switch is set to RELEASE.

1 Position the recorder and the sound source as illustrated on page 8. The sound picked up from the the L microphone will be recorded on the left channel and the sound from the R microphone on the right channel.
2 Just press the ● REC button. Recording will begin.

To stop the tape, press the ■ STOP button. The REC/BATT indicator flickers during recording.

Note: Make sure that nothing is connected to the MIC jack. Otherwise, the built-in microphones are disconnected.

For trouble-free recording

● No recording level adjustment is necessary with the SONY-O-MATIC recording system.

● For recording on this set, we recommend using normal type I tapes. The other types, especially metallic type IV, are not recommended.

● The sound to be recorded can be monitored through the headphones at any desired volume setting without affecting the recording level. However, note that a howling effect (acoustic feedback) may occur if the headphones are placed too near the microphones. In this case, turn down the headphones volume.

● The TCS-370 MIC jack is a stereo minijack. Connect a stereo miniplug only. If a conventional monaural miniplug is used, nothing will be recorded on the R channel.

TIPS ON PLAYBACK/ RECORDING

Logic-controlled mechanism

Logic-controlled, feather-touch tape operation buttons allow rapid switching directly from one mode to another without having to press the ■ STOP button. To switch the mode from record to playback, however, press the ■ STOP button.

All-mode shut-off mechanism

In any operating mode, tape motion stops at the end of the tape and the unit shuts off automatically.

Cue and review function

During playback, you may skip-over unnecessary portions of the tape by pressing the ⏬ FF button (cue function), or repeat a certain portion of the tape by pressing the ⏫ REW button (review function). To start playback again, press the ▼ PLAY button.

Pause function

Slide the PAUSE switch down to stop the tape for a moment in any operating mode. To restart, slide it up.

Safety function

Slide the SAFETY switch to HOLD to keep the machine in the mode previously set. This prevents the machine from changing to another mode if by accident a tape operation button is pressed.

Instant edit function

During playback, press the ● REC button, and the recorder will immediately change to the recording mode. This function is convenient for correcting a previously recorded portion.

RECORDING FROM VARIOUS SOUND SOURCES

(See page 11.)

WITH THE MIC JACK (stereo minijack)

To record with external microphones, use an optional one-point stereo microphone with a stereo miniplug.

To record from various stereo sound sources, connect to the amplifier REC OUT or tape recorder LINE OUT jacks using the optional RK-G128 connecting cord.

● The red phono plug of the RK-G128 should be connected to the right channel and the white one to the left channel.

Note: If a plug is connected to the MIC jack, the built-in microphones will be disconnected.

To make a blank erasure

1 Insert a cassette.
2 Insert the stereo miniplug of the optional RK-G128 connecting cord to the MIC jack. Leave the phono plugs of the cord free.
3 Depress the ● REC button.

Note: The ● REC button cannot be depressed if a cassette with its tabs broken out is loaded. This prevents accidental erasure.

To record on or erase the cassette, cover each slot with a piece of cellophane tape.

WITH THE PHONES JACK (stereo minijack)

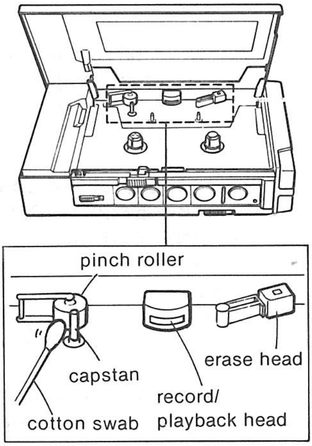
To duplicate onto another tape recorder, connect this jack to the MIC jack of another tape recorder using the optional RK-G134 or RK-G135 connecting cord.

> **Caution**
> Radio and television programs, tapes, discs and other materials may be copyrighted. Unauthorized recording of such material may be contrary to the provisions of the copyright laws.

MAINTENANCE

CLEANING THE HEAD

Clean the tape head after every 10 hours of use to enjoy optimum hi-fi stereo sound: moisten a cotton swab or a soft cloth with denatured alcohol and wipe the parts shown below.



CLEANING THE CASE

Clean the case with a soft cloth slightly moistened with water or a mild detergent solution. Do not use alcohol, benzine or thinner as they may mar the finish.

CARRYING STRAP

(See page 12.)

SPECIFICATIONS

Recording system 4-track 2-channel stereo
Speaker 5 cm (2 inches) dia.
Fast winding time
Approx. 2 min. with Sony Cassette C-60
Frequency response
TYPE I (NORMAL) cassette
50–10,000 Hz (EIAJ)
40–14,000 Hz (playback) (EIAJ)
Input Microphone input jack (stereo minijack)
sensitivity 0.2 mV
for low impedance microphone
Output Headphones jack (stereo minijack)
for headphone with a impedance
of 8–300 ohms
Power output Speaker: 200 mW (EIAJ/DC)
Headphones: 20 mW + 20 mW (EIAJ/DC)
Battery life (EIAJ)

	recording	playback	
		speaker	head-phones
supplied Sony New Super SUM-3(NS)	Approx. 2.5	Approx. 2	Approx. 3
Sony Eveready Alkaline AM3	Approx. 5	Approx. 4	Approx. 6

(hour)

Power requirements
3 V dc, 2 batteries size AA (IEC designation R6)
DC IN 3 V jack accepts:
ac power adaptor
AC-39 (optional) available in Japan for use on 100 V ac
AC-38 (optional) available in Japan for use on 120 V
ac (110, 220, or 240 V ac adjustable by Sony personnel)
car battery cord
DCC-127A (optional) for use on 12 V car battery
The optional PC-200 dc plug adaptor is required for connection with the DCC-127A.
Dimensions (EIAJ) Approx. 88.5 × 149.1 × 31.8 mm (w/h/d)
incl. projecting parts and controls
Weight Approx. 420 g incl. batteries
Accessories supplied
Sony SUM-3 (NS) New Super batteries (2)
Carrying case (1)
Shoulder strap (1)

Design and specifications subject to change without notice.

ソニー株式会社

〒141 東京都品川区北品川6-7-35
お問い合わせ お客様ご相談センター (03)448-3311
Printed in Japan

3-773-339-**02**(1)